

仏壇と春慶塗の融合
塗りの技術は
洞爺湖サミットでも採用

有限会社 仏壇工芸 ほりお

岐阜県
高山市三福寺町369-7

1993年(平成5年)設立
0577-33-6686

<http://www.horio.co.jp>



代表取締役
堀尾 雅紀

飛騨高山の伝統工芸である「飛騨春慶」を生かし、デザインと機能性を現代のライフスタイルに合わせたオーダーメイド型の新しい「仏壇」の開発に成功。北海道洞爺湖サミットで使用された一部の調度品には、同社の春慶塗を採用。

伝統の飛騨春慶塗と木工技術を活用した仏壇シリーズ

雅の技と歴史が生み出した高山仏壇の技術を後世に伝えながら、飛騨高山の伝統工芸である「飛騨春慶」を仏壇にとりいれた。

創業以来100年、金箔仏壇製造は同社の柱ではあるが、新たなカテゴリーとして、木地、塗、金箔とそれぞれの職人の経験をもとに、春慶塗の魅力を活かし、「和モダン」をテーマにした新たな製品を開発。鼈甲色の中に木目が浮かぶ春慶塗は上品で、またその濃淡も高級感を漂わせている。



飛騨春慶仏壇

工房の作業風景

住宅や生活様式にフィットするオーダーメイド体制による供給

伝統技法の摺り漆を施した新作仏壇をはじめ、住宅事情に合わせた可動式扉のスライド仏壇などの新たな取組みは、多くの顧客から満足を得ている。

近年では、現代の生活様式に合わせ、リビングでもマッチするデザインや、マンション等の省スペース型の供養壇(小型仏壇)をシリーズ化した。また、自社一貫製造であるため、多岐に渡るオーダーメイドにも対応が可能である。



洋間における設置例

新たな取組み

仏壇・供養壇だけにとどまらず、建造物などにも春慶や金箔の魅力を訴求している。

左官・挟土氏とのコラボレーションで、金沢にある土蔵に金箔を貼り、世界初の悠久の光を思わせる商業施設を実現し、東京の一流ホテルでは、同社が考案した特殊技法を用い、純金箔の吹き付けや金箔アートの施工を行っている。

昨年の洞爺湖サミットでも、同社が春慶塗を施した土の座卓が使用されるなど、新たな挑戦を続けている。



サミット座卓 / ホテル、商業施設等での施工事例